

# 愛知県経済の現状と見通し<2013年9月>

## 1. 総括判断

景気の現状	景気は回復に向けた動き	基調判断の 前月との 比較(注1)	→	水準 評価 (注2)	☀️   ☁️
当面の見通し	回復に向けた動きが持続する見通し		↗️		☀️   ☁️

## 2. 個別項目の動向

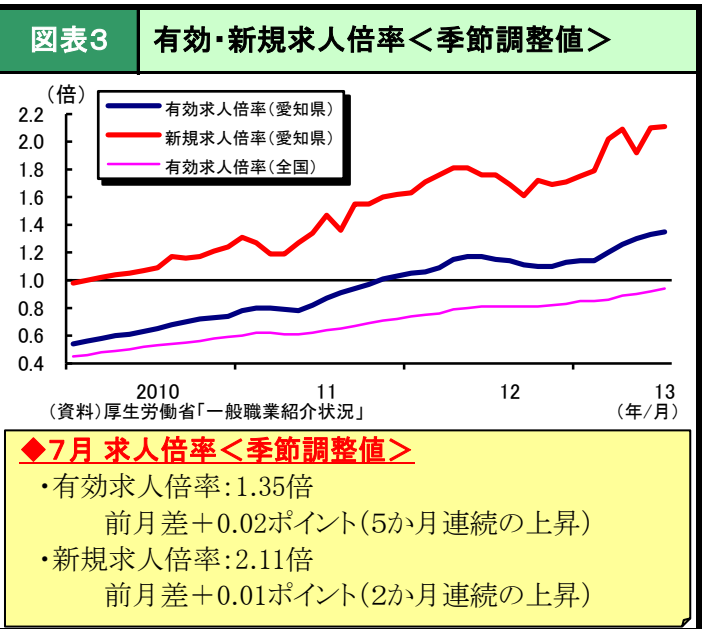
個人消費	基調判断	一部に回復に向けた動き			図表1	名古屋市・百貨店販売額<前年比>
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☁️	<p>(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売」</p>	
<p><b>個人消費</b></p> <p>◯『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、7月の名古屋市内百貨店販売額は前年比▲0.2%と6か月ぶりの減少。</p> <p>◯品目別にみると、消費マインドの改善により貴金属、宝石、腕時計などの高級品が牽引する形でその他商品(前年比+11.2%)が堅調な一方、主力の衣料品(同▲6.5%)が3か月ぶりに減少。</p> <p>◯一方、8月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、25,425台・前年比▲0.7%と4か月連続の前年比マイナス。</p> <p>◯車種別にみると、軽乗用車(前年比+18.3%)は昨年9月以来の二桁の伸びとなったものの、小型車(同▲12.2%)、普通車(同▲3.6%)はいずれも4か月連続のマイナス。</p> <p><b>見通し</b></p> <p>◯9月は土日祝日にかけて天候不順、台風等が続き小売、レジャー等に影響。消費マインドの改善に伴い高額商品の売れ行きが好調に推移するなか、名古屋市内の百貨店では時計売り場の面積を従来の3倍に拡大し、新たなブランドを導入する計画もあるなど、旺盛な消費者の需要を取り込む動きが活発化。</p> <p>◯乗用車については、これまで出ていたエコカー補助金等の効果で大幅増加となった前年の動きの影響が薄まりつつある状況。今後、消費税率引き上げ前の購入需要や新型車投入効果などから、販売は堅調に推移する見通し。</p>						
					図表2	新車乗用車販売台数<前年比>
					<p>(資料) 日本自動車販売協会連合会「自動車登録統計情報」</p>	
					<p><b>◆8月 新車乗用車販売台数&lt;含む軽&gt;</b></p> <p>25,425台 前年比▲0.7%(4か月連続の減少)</p>	

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、↗️:上方修正、→:据え置き、↘️:下方修正を示す。例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる。したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

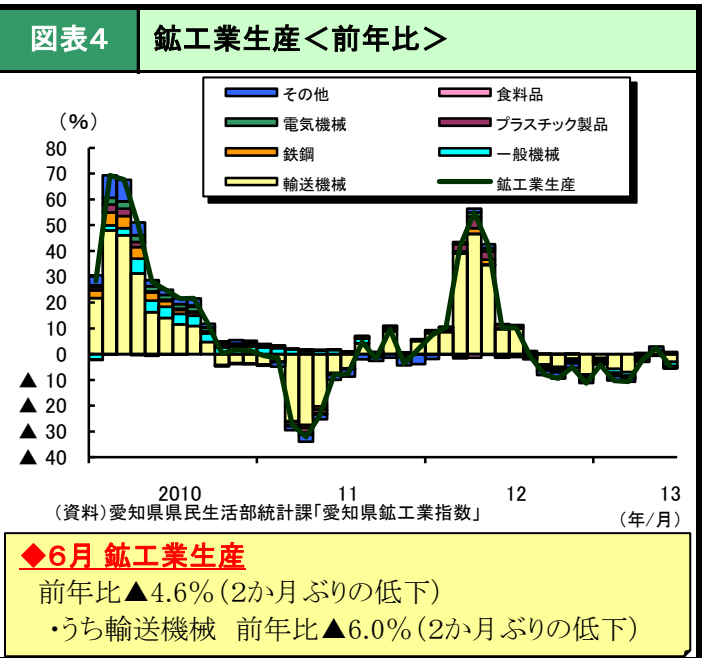
(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、☀️:晴、☀️☁️:晴～曇、☁️:曇、☁️☔️:曇～雨、☔️:雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話: 059-354-7102

雇用情勢	基調判断	回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️   ☁️
	<p>《現状》</p> <p>○7月の求人倍率をみると(図表3)、有効求人倍率(季節調整値)は1.35倍と5か月連続、新規求人倍率(同)は2.11倍と2か月連続で上昇。新規求人数は5年5か月ぶりに5.5万人を超える水準。</p> <p>○愛知県の有効・新規求人倍率はともに東京に次いで全国2位と依然として高い水準で推移。</p> <p>《見通し》</p> <p>○企業の生産活動には徐々に回復の動きが出始めており、今後、製造業でも求人回復が期待される状況。</p>			



企業活動	基調判断	一部に回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☁️
	<p>《現状》</p> <p>○6月の鉱工業生産指数をみると(図表4)、前年比▲4.6%と2か月ぶりのマイナス。県内の生産動向に大きな影響を与える輸送機械(同▲6.0%)の減少が主因。</p> <p>《見通し》</p> <p>○愛知県の鉱工業生産に影響力の大きいトヨタ自動車の国内生産動向をみると、7月もマイナス。もっとも、エコカー補助金等の政策効果で大幅増となった前年の影響もあり、生産の基調は引き続き回復傾向。</p>			



輸出	基調判断	回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☁️
	<p>《現状》</p> <p>○7月の名古屋港通関輸出額をみると(図表5)、前年比+14.4%と7か月連続の増加。二桁の伸びは4か月連続。</p> <p>○仕向地別にみると、米国向け(前年比+4.6%)がやや鈍化した。中国向けが改善傾向にあることに加え、西欧向けも同+26.0%と高い伸び。</p> <p>《見通し》</p> <p>○一般機械は中部5県主要メーカーの海外受注高(7月:前年比▲9.3%)が3か月ぶりのマイナス。欧州向けが3か月連続のプラスとなったものの、北米向けが2か月ぶり、アジア向けが2か月連続のマイナス。もっとも、北米向けは自動車向けを中心に受注が堅調に推移する見込み。</p>			

